

第2次読書のまち八王子推進計画

実績評価総括表

	★★★					★★					★					合 計				
	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
生涯読書	4	1	1	1	7	3	3		1	7	19	8	1	1	29	26	12	2	3	43
子ども読書	4	2			6	9	1			10	28	16			44	41	19	0	0	60
計	8	3	1	1	13	12	4	0	1	17	47	24	1	1	73	67	31	2	3	103

第2次読書のまち八王子推進計画(H22～26年度)実績評価 集計表

区分	事業	取組み名	ほし	評価
生涯	16	電子情報(郷土資料等)の提供	★★★	A
生涯	19	来館が困難な方に対するインターネットによる情報提供	★★★	A
生涯	20	視覚障害者への音声サービス	★★★	A
生涯	28	社会福祉施設等への出張図書館	★★★	A
生涯	18	ホームページにおける書店との相互リンク	★★★	B
生涯	1	地区図書室の図書館分室化	★★★	C
生涯	17	図書館メールマガジンの配信等	★★★	D
生涯	12	市民への大学(図書館)情報の提供	★★	A
生涯	21	外国人に対するホームページ等の多言語化	★★	A
生涯	38	「デイジー(DAISY)」の活用	★★	A
生涯	4	地域の要望に沿った開室日時の拡大	★★	B
生涯	5	物流体制の強化による提供機会拡充	★★	B
生涯	7	地区図書室の図書部員のスキルアップ	★★	B
生涯	25	近隣でない地域との連携推進	★★	D
生涯	3	蔵書の充実とサービス拡充	★	A
生涯	10	専門書に触れる機会の充実	★	A
生涯	11	大学生の実習生など積極的な受入れ	★	A
生涯	13	多様な情報提供	★	A
生涯	14	資料提供等による生涯学習環境推進	★	A
生涯	15	市民が求める必要な情報提供	★	A
生涯	26	専門研修参加等による職員資質向上	★	A
生涯	27	質の高い蔵書の充実	★	A
生涯	29	点字図書や録音図書の積極的収集	★	A
生涯	30	字幕・手話入りビデオ等の収集、貸出	★	A
生涯	31	日本語の読書が困難な外国人等を対象とした資料の充実	★	A
生涯	32	拡大字本等の充実	★	A
生涯	33	施設・設備の整備・改善	★	A
生涯	34	手話等コミュニケーション手段確保	★	A
生涯	35	高齢者向け朗読会の充実	★	A
生涯	36	八王子千人塾の充実	★	A
生涯	41	朗読グループ等のボランティア団体活動支援	★	A
生涯	42	市民団体等が実施する読書活動への支援	★	A
生涯	43	市民団体等との連携による講演会等の開催	★	A
生涯	2	子どもたちの興味の引く本や調べものができる本などの充実	★	B
生涯	6	ふれあいの場となるための地域文庫支援	★	B
生涯	8	相互情報提供による読書機会の拡充	★	B
生涯	22	講座等における市民への図書館PR	★	B
生涯	23	図書館利用の拡大につながる売込み	★	B
生涯	37	寝たきりの方等へ本の宅配サービス	★	B
生涯	39	宅配サービス等のボランティア育成	★	B
生涯	40	大学生のボランティア意識の醸成	★	B
生涯	24	他市連携内容充実のための見直し	★	C
生涯	9	出版社との協働による地域資料出版史の作成	★	D
子ども	55	学校図書館活動を担うスタッフ配置の推進	★★★	A
子ども	65	サポートセンターの機能充実	★★★	A
子ども	96	視覚障害者への音声サービス	★★★	A
子ども	103	入学時における図書館利用案内配布	★★★	A
子ども	64	学校図書館サポートセンターの設置	★★★	B
子ども	82	読書情報を発信する子ども向けコーナーの作成	★★★	B
子ども	50	団塊の世代等へのアプローチ	★★	A
子ども	54	学校図書館読書指導員への登録呼びかけ	★★	A
子ども	56	学校図書館読書指導員(ボランティア)の拡充	★★	A
子ども	58	司書教諭、学校図書館読書指導員等の研修	★★	A
子ども	59	指導の重点(教育課程)への読書活動明記	★★	A
子ども	60	校内体制の整備、学校図書館の充実	★★	A
子ども	61	学校ごとによる読書指導計画の策定	★★	A

子ども	62	読書指導計画への家庭や地域、図書館等との連携の盛り込み	★★	A
子ども	69	読書活動取組事例等データベース化	★★	B
子ども	97	外国人に対するホームページ等の多言語化	★★	A
子ども	46	保護者に対する読書の啓発	★	A
子ども	49	おすすめ本の紹介や読み聞かせの手法伝授	★	A
子ども	52	読み聞かせやおはなし会等の活動の支援	★	A
子ども	53	ボランティア組織への参加呼びかけ	★	A
子ども	57	学校内で活動するボランティアへの活動支援	★	A
子ども	63	学校図書館の使い方等の利用指導	★	A
子ども	66	学校図書館の蔵書のデータベース化	★	A
子ども	67	学級活動における朝読書の推進	★	A
子ども	68	高学年以上による低学年以下への読み聞かせ	★	A
子ども	72	障害のある子どもの図書館訪問等	★	A
子ども	73	成長期における読書の意義の啓発	★	A
子ども	74	おすすめ本の紹介等による保護者への啓発	★	A
子ども	75	家庭で役目を終えた児童書等の学校等での活用	★	A
子ども	76	本に触れる機会が増えるような学校だより等を通じた働きかけ	★	A
子ども	77	図書館における児童図書の実充	★	A
子ども	83	「一日図書館員」等の事業充実	★	A
子ども	84	ブックスタート事業の連携での実施	★	A
子ども	85	ボランティアの育成	★	A
子ども	86	研修等によるボランティアのレベルアップ	★	A
子ども	92	点字図書や録音図書の積極的収集	★	A
子ども	93	字幕・手話入りビデオ等の収集、貸出	★	A
子ども	94	日本語の読書が困難な外国人等を対象とした資料の実充	★	A
子ども	95	拡大字本等の充実	★	A
子ども	98	施設・設備の整備・改善	★	A
子ども	99	手話等コミュニケーション手段確保	★	A
子ども	100	市民団体等が実施する読書活動への支援	★	A
子ども	101	市民団体等との連携による講演会等の開催	★	A
子ども	102	イベント開催による読書活動推進の啓発	★	A
子ども	44	保育園・幼稚園等での読み聞かせ	★	B
子ども	45	図書スペースの確保や工夫あるディスプレイ	★	B
子ども	47	地区図書室における児童向けの図書充実	★	B
子ども	48	子育てサークルへの読書の重要性の啓発	★	B
子ども	51	子どもの地域文庫活動への参加啓発	★	B
子ども	70	障害に対する理解を深める啓発活動	★	B
子ども	71	障害に配慮した資料選定と読書活動の工夫	★	B
子ども	78	各年代に応じたサービスの実施	★	B
子ども	79	インターネット活用による情報提供	★	B
子ども	80	身体が不自由な方への本の宅配サービス	★	B
子ども	81	おはなし会実施と保護者への参加呼びかけ	★	B
子ども	87	児童サービス担当職員間の連携充実	★	B
子ども	88	研修参加や文庫との交流による職員のレベルアップ	★	B
子ども	89	障害のある方に対するレファレンスの充実	★	B
子ども	90	図書館職員訪問による読書活動支援	★	B
子ども	91	読書活動の底辺の拡大	★	B

第2次読書のまち八王子推進計画(H22～26年度)実績事業別評価

○所管課評価基準

- A 計画通り事業を実施し、よい結果が得られた。
- B 計画通り事業を実施できた。
- C 計画した事業の一部が未達成であった。
- D 計画した事業が達成できなかった。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績												
第一章 生涯読書活動推進計画																	
1 地域における読書活動の推進に向けた取組																	
① 地域間サービス格差を是正するため、地区図書室を図書館の分室として整備し、読書しやすい環境を推進する。																	
1	地区図書室の図書館分室化	協働推進課	★★★	C	地区図書室の図書館分室化について、図書館部・ふれあい財団・住民協議会との協議を支援した。また、25年度に由井市民センターみなみ野分館地区図書室を図書館分室化(27年度開室)することが決定したことから、開設に向け図書館部及びふれあい財団、住民協議会との調整協議を行った。												
		図書館			22年度に、分室化に向けた、地区図書室の運営状況の把握を行い、23年度に、全地区図書室に対して、分室化計画の説明会を開催し、地域要望を含め、分室化予定候補の選定を行った。 24年度には、北野分室の運営上の課題等を踏まえ、分室化予定地区図書室の実施体制等について検討協議を行い、予算化に向けて調整を進めた。 25年度に由井市民センターみなみ野分館地区図書室の分室化計画(27年度開室)が決定した。												
		ふれあい財団			26年度に、みなみ野分室開室に向け市民活動推進部及びふれあい財団、住民協議会との調整等を行った。また、分室化するにあたり、新たな配置図面や書棚等の必要な什器をリストアップして、運営にかかる費用の算出を行い、必要経費を平成27年度予算に計上した。 23年度から地区図書室の分室化予定候補の選定等について、図書館部及び住民協議会と調整を進めた。25年度に由井市民センターみなみ野分館地区図書室を図書館分室とすること(27年度開室)が計画決定したことから、図書館部及び市民活動推進部及び住民協議会との調整協議を実施した。												
②地区図書室の蔵書充実と更なる開室時間の延長などサービス向上の推進																	
2	子どもたちの興味の引く本や調べものができる本などの充実	協働推進課	★	B	毎年、地区図書室の運営費補助金をふれあい財団に交付し、子ども達が興味を示す本の購入を支援した。(平成26年度実績16,595千円)												
		図書館			各地区図書室に、毎年青少年読書感想文全国コンクール課題図書のリストを配布するなどして、子ども達が興味を引く本を紹介した。また、地区図書室への団体貸出において、地区図書室と協議する中で、子ども向け蔵書を地区図書室に貸出し、蔵書の充実を支援した。												
		ふれあい財団			市からの地区図書室運営費補助金の毎年の交付を受け、地区図書室を良好に運営する中で、図書館から団体貸出しによる書籍の借用において、図書館と協議し、図書館予算による各地区図書室選書に基づく新書購入調整や、図書館の蔵書整理において除籍した蔵書を希望する地区図書室に配本した。												
3	蔵書の充実とサービス拡充	協働推進課	★	A	毎年、地区図書室の運営費補助金をふれあい財団に交付し、ふれあい財団が行う地区図書室の運営に対して助成し、蔵書の充実を支援した。												
		図書館			各地区図書室と連携を密にして希望図書を聞き、効率的な図書の選定や団体貸出等による蔵書の充実を支援した。 また、定期的に地区図書室代表者会議に参加し、地区図書室との意見交換の場を設け、図書や運営に関する相談指導や、地区図書室職員へのレベルアップ研修を毎年実施する等により、蔵書充実や市民サービス向上への支援を行った。												
		ふれあい財団			毎年、市からの地区図書室運営費補助金の交付を受け地区図書室の運営を行う中で、図書館から団体貸出しにより書籍を定期的に借用すると共に、図書館との協議により、図書館予算による各地区図書室選書に基づく新書購入調整や、図書館の蔵書整理に伴い除籍となった蔵書を希望する地区図書室に配本するなどにより、蔵書の充実に努めた。 また、定期的に地区図書室代表者会議を開催し、図書館との意見交換の場を設け市民サービスの向上を図った。さらに、26年度に財団ホームページに地区図書室の情報提供ページを新設し、地区図書室の開室時間やイベント情報を掲載を開始した。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H21</th> <th style="text-align: center;">H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書数</td> <td style="text-align: right;">185,572冊</td> <td style="text-align: right;">203,691冊</td> <td style="text-align: right;">(+9.8%)</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td style="text-align: right;">59,732人</td> <td style="text-align: right;">65,916人</td> <td style="text-align: right;">(+10.3%)</td> </tr> <tr> <td>貸出数</td> <td style="text-align: right;">115,576冊</td> <td style="text-align: right;">119,137冊</td> <td style="text-align: right;">(+3.1%)</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H26		蔵書数	185,572冊	203,691冊	(+9.8%)	利用人数	59,732人	65,916人	(+10.3%)
	H21	H26															
蔵書数	185,572冊	203,691冊	(+9.8%)														
利用人数	59,732人	65,916人	(+10.3%)														
貸出数	115,576冊	119,137冊	(+3.1%)														
4	地域の要望に沿った開室日時の拡大	協働推進課	★★	B	ふれあい財団が行う地区図書室の運営に対して助成することにより、地区図書室の安定した運営に向けた支援を行った。												
		ふれあい財団			市からの補助金を受け、地区図書室代表者会議等において、定期的に意見交換を行い、開室日数や時間について、各地域の実情に合わせた地区図書室の良好な運営を継続して実施することが出来た。しかし、地域のボランティア体制や運営予算の制限から開室日時等の拡大には至らなかった。												

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
5	物流体制の強化による提供機会拡充	図書館	★★	B	地区図書室でも図書館資料を受け取れるよう、地区図書室へのリクエスト交換便を週2回運行(H19～)し、迅速に図書を提供した。配送回数については、地区図書室代表者会議において協議した結果、現在の2回の配送が、現状の地区図書室の体制としては適当との意見を受け、継続して配送することとした。
③ 地域文庫や地区図書室と図書館との連携強化					
6	ふれあいの場となるための地域文庫支援	図書館	★	B	地域文庫6団体への貸出を継続して実施し、蔵書の充実を支援した。また、図書館内やブックスタート時に、地域文庫のチラシの配布を行うなどにより地域文庫活動への支援に努めた。
7	地区図書室の図書部員のスキルアップ	協働推進課	★★	B	ふれあい財団が行う地区図書室の運営に対して助成し、地区図書室図書部員のスキルアップを図れるよう支援した。
		図書館			毎年、地区図書室図書部員のスキルアップを図るために、ふれあい財団との共催により、読みきかせの方法等に関する研修を実施した。
		ふれあい財団			毎年、中央図書館との共催により、地区図書室運営担当者対象の読み聞かせ研修等を実施した。
④ 書店や出版社、図書館などが連携して、ブックフェアなどを開催し、相互の交流や連携を目指す。					
8	相互情報提供による読書機会の拡充	図書館	★	B	毎年、市内書店などで構成する実行委員会により開催されている、「八王子古書まつり」を図書館として後援し、祭り会場で「読み聞かせ」を実演し、図書館においても情報周知を図るなど、市内書店との連携を図った。
9	出版社との協働による地域資料出版史の作成	図書館	★	D	未実施 (21年度に中央図書館において、市内出版社等との連携により「八王子関係出版史展」を開催し、その後に市内出版社と協働による地域資料出版史の作成検討を行ったが、地域資料の整理や図書館側の体制等課題が多く、作成には至らなかった。)
2 学校における読書活動の推進に向けた取組					
① 大学コンソーシアム八王子における図書館連携を実施					
10	専門書に触れる機会の充実	大学・図書館	★	A	各図書館において、市民からの相談のあった専門書について、市民が大学図書館資料を閲覧できるよう、図書館から大学図書館への紹介状を発行し、大学図書館の利用を促進した。また、平成25・26年度に、図書館部として市内大学図書館(13大学)を訪問し、一般市民への開放状況の現状把握を行い、市民開放への協力を要請した。
11	大学生の実習生など積極的な受け入れ	大学・図書館	★	A	毎年、大学からの要請により、司書資格取得のための実習生を継続して受け入れることが出来た。
12	市民への大学(図書館)情報の提供	大学・図書館	★★	A	24年度に図書館ホームページに八王子市民が利用できる大学図書館のページを新たに設置し、利用可能な大学図書館ホームページ(17大学)のリンクを張った。また、26年度に図書館ホームページにバナー広告として、法政大学図書館情報との連携を行った。
3 公共図書館における読書活動の推進に向けた取組					
① 生涯にわたって学び、創造し、充実す人生を応援する図書館活動					
13	多様な情報提供	図書館	★	A	平成23年度に図書館ホームページの全面改正により、より多くの図書館情報を発信することができるようになった。また市広報、市ホームページ、図書館広報紙「らいぶらりい」、チラシ、などで図書館情報の周知に努めた。特に「らいぶらりい」では、図書館のイベント情報をはじめ、連載により八王子のむかし話を掲載し、24年度から3か年で図書館で活躍するボランティア団体(9団体)を紹介した。
14	資料提供等による生涯学習環境推進	図書館	★	A	23年度に都立図書館から移管を受けた多摩地域資料1万7千冊について、24年度に整備・データ化し市民へ公開した。また、毎年、中央図書館において市民ニーズに応じたテーマ展示(26年度には『八王子を舞台にした小説』『八王子をあぐる』『八王子の芸術』など、「八王子」に焦点をあてたテーマ)を実施したほか、各図書館において、毎月児童書のテーマごとに展示や、毎年男女共同参画をテーマとしたテーマ展示を実施し、幅広く生涯学習への資料提供に努めた。
② 地域の情報拠点としての充実					
15	市民が求める必要な情報提供	図書館	★	A	市民に身近な情報提供として、毎年中央図書館を中心に各館でテーマ展示を実施した。特に中央図書館において、東日本大震災後として、23・24年度に「災害・原発・くらし」をテーマにテーマ展示を実施。また、25年度には、東京多摩国体の開催を受け、「国体」等について、また八王子市にゆかりの深い「大久保長安」に関する図書展示や、『八王子を舞台にした小説』など、「八王子」に焦点をあてたテーマ展示を実施した。
③ ICTを活用したサービスの向上					
16	電子情報(郷土資料等)の提供	図書館	★★★	A	国会図書館の資料のデジタル化資料送信サービスを26年7月から中央図書館、同年10月から生涯学習センター図書館にて提供を開始した。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
17	図書館メールマガジンの配信等	図書館	★★★	D	未実施 (メールマガジンの配信について検討した結果、23年度に図書館ホームページが全面改修され情報量が大幅に増加したこと。また、市ホームページやフェイスブック等で多くの情報を提供できるようになったことなど、インターネットによる情報が氾濫する中で、メールマガジンで図書館情報を発信したとしても、その事務量と情報の有効性と検討した結果、未実施となった。)
18	ホームページにおける書店との相互リンク	図書館	★★★	B	26年度に図書館ホームページへのバナー広告掲載のかたちで、(株)図書館流通センター及び市内出版会社の清水工房と連携を行った。
19	来館が困難な方に対するインターネットによる情報提供	図書館	★★★	A	23年度に図書館ホームページの全面改修により、延長手続きなど利用者自身が操作できる機能の拡大や自動電話応答システムの導入により、自宅からの利便性が大幅に向上した。また、図書館ホームページに「図書館からのお知らせ」や「図書館活動通信」を設置し、イベントのお知らせや実施後の報告などの情報発信に努めた。またホームページへのアクセス数が、22年度の62万件から26年度は156万件に大幅に増加した。
20	視覚障害者への音声サービス	図書館	★★★	A	23年度の図書館システム更新に合わせ、図書館ホームページに音声読み上げ機能についてZoomSightを設置すると共に、ホームページへの情報掲載において、音声読み上げルールに則した記述方法の徹底を図った。
21	外国人に対するホームページ等の多言語化	図書館	★★	A	23年度の図書館ホームページの更新に合わせ、図書館利用案内を英語、中国語、ハングル語の3か国語で掲載し、必要に応じて修正を加えた。
④ 市民大学講座や生涯学習講座等と連携し、図書館PRに取り組む。					
22	講座等における市民への図書館PR	図書館	★	B	毎月、南大沢図書館において、生涯学習センター南大沢分館と共催で、幼児と親向けのお話会(「ぴよぴよ絵本の時間」毎月回実施)を実施する共に、年1回にお話会講師用の講演会を実施し、読書を通じた図書館の利用促進を図った。
23	図書館利用の拡大につながる売込み	図書館	★	B	毎年、秋に実施する「図書館祭り」において、図書館ボランティア団体によるワークショップを開催し、ボランティア団体の活動紹介などを行った。また、24年度には八王子古本市で「読み聞かせ」を実施する等により、市民への図書館の利用拡大を図った。また、また第3次読書のまち推進計画の策定において、生涯学習スポーツ部、学校教育部、子ども家庭部、医療保険部等関係所管と複数回にわたり協議を行い、読書活動推進への協力関係を確認した。
24	他市連携内容充実のための見直し	図書館	★	C	八王子市と京王線沿線6市との図書館連携において、毎年開催する関係市連絡会議の際に、八王子市では関連市の市民が八王子市図書館を利用する場合に、八王子市民と同様の利用ができるが、八王子市民が他市図書館を利用する際は、当該市民と同様の利用が出来るように他市に要請したが、利用内容の拡大には至っていない。また、連携している相模原市との定期的な情報交換を行った。
25	近隣でない地域との連携推進	図書館	★★	D	京王線沿線6市と相模原市、あきる野市の8市と図書館の相互利用協定を結んでいる。この8市以外について、東京都市町村立図書館長協議会等を通じて、連携のための情報収集に努めたが、新たな連携には至らなかった。
⑥ 図書館職員の資質の向上					
26	専門研修参加等による職員資質向上	図書館	★	A	都立図書館(新任研修・レファレンス研修・本の修理ほか)や関連団体が主催する専門研修に、毎年職員を派遣し、職員の資質向上に努めた。
⑦ 質の高い蔵書の充実					
27	質の高い蔵書の充実	図書館	★	A	出版取次店等によるブックキャラバンでの現物見本による図書内容の確認、新聞やネットからの情報共有化、書店での現物確認等を行うと共に、選書担当の連絡会議等での意見交換を密にし情報共有化を図ることにより、全体で質の高い蔵書の充実に努めた。
⑧ ユニバーサルデザインに基づく読書環境づくり					
28	社会福祉施設等への出張図書館	図書館	★★★	A	21年度より養護老人ホーム等への出張図書館の試行を開始し、毎回200冊の本を持参し、合わせてボランティアによるお話会等を行っている。26年度は、養護老人ホーム2か所と軽費老人ホーム1か所を、三か月ごとに合計11回訪問することが出来た。
29	点字図書や録音図書の積極的収集	図書館	★	A	毎年、ボランティア団体の協力により新刊案内などの点字図書、週刊誌(抜粋)や八王子案内資料、利用者からの要望された図書資料のデージー図書を作成している。また、サピエ(厚生労働省補助、視覚障害者ネットワークシステム整備事業)のサービスや音訳ボランティア団体との連携を通して、デージー図書の利用促進を図った。
30	字幕・手話入りビデオ等の収集、貸出	図書館	★	A	24年度に、職員とボランティアの協力で、字幕・手話入り図書館利用案内DVD、及び聴覚障害者の八王子空襲などの手話による体験談DVDを、字幕入りで作成し市民が利用できるようにした。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
31	日本語の読書が困難な外国人等を対象とした資料の充実	図書館	★	A	生涯学習センター図書館を中心に、多文化サービスのための原書の蔵書充実に努めた。また生涯学習センター図書館において、図書館入口に英語での利用案内を大きく掲示すると共に、中国語書籍のデータを入力し資料提供できるようにした。また日本でも話題になっている資料の原書を購入し提供した。
32	拡大字本等の充実	図書館	★	A	各図書館において、拡大字本(大活字版)の継続購入に努めた。
⑨ 図書館利用のサポート					
33	施設・設備の整備・改善	図書館	★	A	図書の返却ポストを、23年度に八王子駅南口総合事務所に、24年度に北野分室に設置した。また、25年度に中央図書館に赤ちゃんフラットを設置し利用者サービスの向上を図った。このほか、各図書館において、施設や設備の改修を行った。
34	手話等コミュニケーション手段確保	図書館	★	A	中央図書館に手話ができる職員を配置したほか、中央図書館において職員への手話講習を毎週1回昼休みに実施した。また、毎年、庁内での職員向けの手話講習会へ職員の参加を促した。
35	高齢者向け朗読会の充実	図書館	★	A	毎年、中央図書館で高齢者向け朗読会を春1回、秋1回実施する共に、高齢者施設への出張図書館時に毎回朗読会を実施した。また、26年度には八王子お話しのと共催で、生涯学習センター南大沢分館において「大人の読書の会」を開催した。
36	八王子千人塾の充実	図書館	★	A	16年度から開催している「八王子千人塾」(八王子千人塾の卒業生で構成される「八王子千人塾塾生の会」の協力によりを開催)を継続して開催し、毎年研究成果を冊子にし発表した。また、この塾生の会では、毎年八王子市の郷土史等の研究成果が発表され、「図書館を使った調べ学習コンクール」(公財「図書館振興財団」主催)において毎年入賞している。
37	寝たきりの方等へ本の宅配サービス	図書館	★	B	15年度より実施している宅配サービスについては、広報等による周知を図りつつ、各館でボランティアにより月1度で宅配サービスを継続実施した。(26年度 実利用人数24名、延べ236回実施)
38	「デージー(DAISY)」の活用	図書館	★★	A	24年度から、八王子図書館の方針として、カセットテープで提供していた定期刊行資料をデージーに切り替えることとし、通常資料と合わせてデージー図書の作成を進めた。また、サピエ(厚生労働省補助、視覚障害者ネットワークシステム整備事業)のサービスや音訳ボランティア団体との連携を通してデージー図書の利用促進と拡充を図った。
⑩ ボランティアの育成、協働のための仕組みづくり					
39	宅配サービス等のボランティア育成	図書館	★	B	15年度より実施している宅配サービスにおいて、23年度に新たに宅配ボランティアを募集し、研修を実施し宅配サービスを行った。
40	大学生のボランティア意識の醸成	図書館	★	B	25・26年度において、東京工科大学の学生ボランティアの協力により、川口図書館における企画事業を実施した。
⑪ 市民団体等との連携・支援					
41	朗読グループ等のボランティア団体活動支援	図書館	★	A	各図書館において、毎月朗読ボランティア団体によるお話を開催し、本の修理や手づくり絵本などの活動の場を提供すると共に、「らいぶらりい」において、24年度から3か年で図書館で活躍する市民力として、ボランティア団体を紹介した。
42	市民団体等が実施する読書活動への支援	図書館	★	A	秋の図書館祭りの企画として、いちょう祭りに合わせ、図書館ボランティア団体の活動を紹介するワークショップを開催し、団塊の世代を含む市民にボランティア活動の周知を図った。また、図書館報らいぶらりいでボランティア団体の活動を紹介した。
43	市民団体等との連携による講演会等の開催	図書館	★	A	24年度より、東京八王子西ロータリークラブと協働により、読書感想文・感想画コンクールを実施し、中学生入賞者を台湾高雄市に派遣した。また毎年夏休みに「手づくり絵本」講座を「八王子手づくり絵本の会」と、また26年度に「大人の読書の会」を「八王子お話しのと」連携して実施した。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
第二章 子ども読書活動推進計画					
1 地域における読書活動の推進に向けた取組					
① 保育園・幼稚園等での読書活動					
44	保育園・幼稚園等での読み聞かせ	保育幼稚園課	★	B	各年齢に合わせ、個別又は設定保育の中で保育士による絵本・紙芝居の読み聞かせを毎日実施した。また、3歳以上児クラスを対象にボランティアによる絵本の読み聞かせを定期的実施した。
45	図書スペースの確保や工夫あるディスプレイ	保育幼稚園課	★	B	各年齢クラス内へ図書コーナーを設け、年齢に見合った図書を配置した。また、保育室内の子どもが落ち着きやすい場所に、本棚を設置し、その周辺にマットを敷くなどして、子ども達が自由に絵本に触れることができるよう、環境設定を行った。
46	保護者に対する読書の啓発	図書館	★	A	保健福祉センター等でのブックスタート(毎年72回/年)や3歳児検診(毎年72回/年)において、保護者に絵本の読み聞かせの大切さを周知すると共に、大横保健福祉センターや南大沢保健福祉センターでのマニフェスタで、読み聞かせの出前講座を実施した。また、南大沢図書館において、毎月「ぴよぴよ絵本の時間」を開催し、保護者への絵本の読み聞かせや手遊び・わらべ歌を実施した。
		保育幼稚園課			週1回、保育園での図書の貸し出しを行い、家庭で親子と一緒に絵本に触れることや、子どもへの読み聞かせの大切さを伝えた。また、保育参観時に読み聞かせ場面を保護者に見てもらい、懇談会での絵本の貸し出しの取組みを伝え、お便り発表会などでも読み聞かせの意義を伝えた。さらに、図書館や近隣のサークルが行う、図書に関するイベントポスターを掲示するなど、その内容を保護者に周知した。 また、子育て広場事業スペースでは、絵本の表紙が見えるようにディスプレイし、参加の親子の目に留まるよう工夫した。
② 地区図書室における児童向け図書の充実					
47	地区図書室における児童向けの図書充実	協働推進課	★	B	ふれあい財団が行う地区図書室の運営に対して助成し、児童書の蔵書充実が図られるように努めた。
		図書館			地区図書室図書部員の要望を聞くと同時に、ベストセラーなど図書館で人気がある本を貸出し、魅力ある地区図書室を目指して蔵書整備を支援した。
		ふれあい財団			中央図書館からの団体貸出し書籍の借用や、中央図書館予算による各地区図書室選書に基づく新書の借入調整により、児童書の充実に努めた
③ 子育てサークル等への支援					
48	子育てサークルへの読書の重要性の啓発	図書館	★	B	由木地区の子育てサークル(バンビちゃん広場)に図書館職員が出張し、読み聞かせやわらべ歌等を通じて、読み聞かせの大切さや図書館活動をPRした。
49	おすすめ本の紹介や読み聞かせの手法伝授	子ども家庭支援センター	★	A	地域子ども家庭支援センターみなみ野にみなみ野絵本図書室を常設し、おすすめ本の紹介や読み聞かせの手法伝授、絵本等の貸出を行った。
		図書館			毎年、南大沢図書館で、わらべうたや手遊びなどの講演会を開催し、ボランティア団体や保育士などに読み聞かせや手遊び等の手法を伝えた。また、26年度には桑志高校にて読み聞かせに関する出前講座を実施した。
④ 図書館ボランティアの育成推進					
50	団塊の世代等へのアプローチ	図書館	★★	A	秋に開催する図書館祭りにおいて、ボランティア団体の活動を紹介するワークショップを開催し、団塊の世代を含む市民にボランティア活動の周知を図った。(25・26年度はいちよう祭りと合わせて実施) また、図書館報らいぶらりいでボランティア団体の活動を紹介すると共に、千人塾など大人向けに図書館での調べ学習支援の事業を引き続き実施した。
⑤ 地域文庫での読書活動					
51	子どもの地域文庫活動への参加啓発	図書館	★	B	「らいぶらりい」による子ども文庫連絡協議会の紹介や、ブックスタート時に文庫連絡協議会のチラシの配布を行うなどにより、文庫活動のPRに努めた。
⑥ 児童館等での読書活動					
52	読み聞かせやおはなし会等の活動の支援	図書館	★	A	児童館嘱託職員・臨時職員研修において、図書館部職員による読み聞かせの研修を行った。
		児童青少年課			毎年、定期的に児童館において、地域の方による読み聞かせやおはなしの会を実施(26年度実績32回)出来たことにより、読書による地域の方と子どもたちのふれあいの場を持つことができた。また、児童館嘱託職員・臨時職員研修において、図書館部職員による読み聞かせの研修を行った。
⑦ おはなし会等のボランティア組織への積極的な参加					
53	ボランティア組織への参加呼びかけ	子ども家庭支援センター	★	A	毎年、子育て応援団Beeネットに協力を要請し、市民の方にボランティア会員としてブックスタート事業に協力してもらった。
		図書館			毎年、図書館祭りにおいてボランティア団体の活動を紹介するワークショップを開催し、また図書館報でボランティア団体の活動をシリーズ(24～26年度)で紹介するなどにより、団塊の世代を含む市民にボランティア活動の周知を図った。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
⑧ 学校図書館読書指導員への登録の呼びかけ					
54	学校図書館読書指導員への登録呼びかけ	指導課	★★	A	毎年、各学校において、読書指導員の登録の呼びかけを続け、26年度に人材バンクに統合し登録を呼びかけた結果、学校図書館読書指導員(現・学校図書館ボランティア)登録者の有効登録者数が26年度末で1,432名となった。
2 学校における読書活動の推進に向けた取組					
① 学校図書館活動を担う人の配置					
55	学校図書館活動を担うスタッフ配置の推進	指導課	★★★★	A	22年度に、学校図書館サポート事業を開始し、司書資格を持つ学校図書館サポーターを2名教育センターに配置し、重点校を定め学校図書館の支援を行った。また、24年度から、週1回全小中学校への派遣を目指して、学校図書館の相談指導を行う学校図書館サポーター(読書推進担当)の配置を始め、26年度には11名を44校に派遣した。
		図書館			24年度から、小中学校への調べ学習用図書等の貸出しや相談のために、中央図書館に専従職員(嘱託員)を配置し、同じく24年度から始まった学校図書館サポーター(読書推進担当)の配置・増員などにより、小中学校からの学習用図書の貸出し依頼が増加し、学校への貸出冊数は22年度9,447冊が、26年度には3倍近い24,366冊に増加した。
56	学校図書館読書指導員(ボランティア)の拡充	指導課	★★	A	毎年、重点校を中心に訪問指導により、学校図書館読書指導員(現・学校図書館ボランティア)の拡充を働きかけた。また、ボランティア募集の学校配布用パンフレットを作成配布し、ホームページにも掲載し拡充を働きかけた。
② 読書ボランティアの支援					
57	学校内で活動するボランティアへの活動支援	指導課	★	A	毎年、学校図書館読書指導員(現・学校図書館ボランティア)の実務研修やレベルアップ研修を行いボランティアの資質向上に努めた。さらに、学校図書館サポーターによる電話相談や、学校からの要望を受け、重点校以外の学校にもサポーターが訪問し、ボランティアへの支援を行った。
		図書館			指導課で実施したボランティア研修に講師を派遣し支援した。
③ 司書教諭等の研修の充実					
58	司書教諭、学校図書館読書指導員等の研修	指導課	★★	A	毎年、司書教諭、学校図書館読書指導員(現・学校図書館ボランティア)等の研修において、現場のニーズに合った実務的な研修カリキュラムを実施することにより、教諭等のレベルアップを図った。
④ 指導の重点(教育課程)の読書活動を明記					
59	指導の重点(教育課程)への読書活動明記	指導課	★★	A	各学校で読書活動を推進することを教育課程に盛り込み、学校図書館年間指導計画の作成例を示すことで、各校が同じような指導が出来るようにした。また、教育課程届において、学校図書館の活用についてを位置づけるよう指導した。
60	校内体制の整備、学校図書館の充実	指導課	★★	A	23年度に学校図書館の全蔵書にバーコードを添付しデータ入力した結果、学校図書館蔵書のデータ検索ができるようになった。また、学校図書館において、共通の背ラベルを使い、授業で使いやすい配架を進め、オリエンテーション等で児童・生徒に利用方法を周知した。さらに24年度から派遣を開始した学校図書館サポーター(読書推進担当)の支援や、図書館からの調べ学習用資料の提供を受け、司書教諭や教員が、図書を使った授業が実施できる体制の充実が図れた。
⑤ 読書指導計画の策定					
61	学校ごとによる読書指導計画の策定	小中学校	★★	A	学校図書館サポーター(読書推進担当)の派遣全校において、学校図書館活用年間指導計画を策定した。また、各校の読書指導計画を業務用システム内のドキュメントセンターで公開し、各校がお互いの活動計画や実施内容が見れるようにした。
62	読書指導計画への家庭や地域、図書館等との連携の盛り込み	小中学校	★★	A	各校の学校図書館活用年間指導計画に、家庭や地域との連携、また図書館からの学校への配送便を活用しての調べ学習用図書、学級文庫図書の利用などについて、具体的な連携の時期・方法を記載した。
⑥ 学校図書館利用指導の充実					
63	学校図書館の使い方等の利用指導	小中学校	★	A	学校図書館活用年間指導計画に利用の仕方が位置づけられ、司書教諭の研修や学校図書館サポーター(読書推進担当)の派遣拡大に伴い、小中学校において計画に沿った指導が実施された結果、児童・生徒の学校図書館利用のマナーが向上した。
⑦ 学校図書館サポートセンターの設置					
64	学校図書館サポートセンターの設置	指導課	★★★★	B	22年度に学校図書館サポーター(司書資格者)2名のスタッフを配置し、教育センターにおいて学校図書館サポート事業を開始した。さらに、25年度から学校図書館活用協議会(学校教育部及び図書館部)を開催し、学校図書館サポートセンターの役割や機能について検討を開始し、27年度からの正式発足に向けた体制整備を進めた。
		図書館			小中学校への調べ学習用図書等の貸出しなど、図書の資料センターとしての役割を継続実施するとともに、学校図書館サポートセンターの設置に向け、学校教育部との学校図書館協議会において、定期的に情報交換会を行った。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
65	サポートセンターの機能充実	指導課 ----- 図書館	★★★	A	22年度より、学校図書館サポート事業を開始し、学校図書館重点校への巡回を通じ、学校及び読書指導員やボランティアへの指導を行った。また、22年度より学校図書館サポート事業のリーフレットを年3～4回発行し、サポート事業を周知するとともに、各校の取組事例を広めることができた。また、司書教諭や読書指導員への研修を、図書館と連携し実施した。24年度より、学校図書館サポーター（読書推進担当）の派遣開始に伴い、サポーターのレベル向上、意思統一を図るため、サポーターによる連絡会を毎月開催し、研修・情報交換を実施した。 ----- 22年度より、小中学校への調べ学習用図書及び学級文庫用図書の配送便を開始し、学校図書館サポーターと連絡を密に行い、情報交換、課題の共有を図り、学校貸出の充実を図った。この結果、小中学校への貸出冊数が、22年度の9,447冊が、26年度には24,366と2.6倍に増加した。
66	学校図書館の蔵書のデータベース化	小中学校	★	A	23年度に学校図書館蔵書のデータベース化を行い、図書館システムにデータを構築した。また、学校図書館にあるパソコンでインターネット回線を使用して、図書館蔵書及びの学校図書館蔵書の検索が可能になったことから、学校図書館サポーター（読書推進担当）により司書教諭や児童・生徒に対し、蔵書検索システムの活用研修を実施し、円滑に図書検索し利用できるよう支援した。
⑨ 各学級による読書活動の推進					
67	学級活動における朝読書の推進	小中学校	★	A	授業外における朝読書等の読書活動を進め、26年度に全校（107校）の実施となった。
68	高学年以上による低学年以下への読み聞かせ	小中学校	★	A	図書委員会を中心に高学年による低学年への読み聞かせが定着してきており、児童集会で活動内容を発表した。
⑩ 読書活動推進事例・指導事例の共有					
69	読書活動取組事例等データベース化	指導課	★★	B	各校の学校図書館年間指導計画書を業務用システム内のドキュメントセンターで公開し、各校がお互いの活動計画や実施内容が見れるようにした。なお、学校における読書活動について、22年度より学校図書館サポートだより「とよえもん」を発行し、各学校に配布すると共に、市ホームページにも掲載し積極的な情報発信に努めた。
⑪ 特別な支援が必要な児童・生徒への読書環境の整備					
70	障害に対する理解を深める啓発活動	指導課	★	B	特別支援教育の研修会等の機会に啓発を図った。また、障害に関する書籍の購入や、図書館からの学校図書館貸出用図書の利用など、児童・生徒が障害について調べやすい環境の整備を行った。
71	障害に配慮した資料選定と読書活動の工夫	指導課	★	B	司書教諭研修や学校図書館サポーター研修時に、障害に配慮した資料選定方法など、研修カリキュラムに障がい者に配慮した内容を盛り込んだ。
72	障害のある子どもの図書館訪問等	小中学校 ----- 図書館	★	A	特別支援学級の教育課程に応じて実施したほか、副籍制度の活用などにより、特別支援学級児童・生徒の図書館訪問などが増加した。 ----- 毎年、定期的に聴覚障害者向けの手話のお話を開催すると共に、随時で特別支援学校の図書館見学を受け入れた。
⑫ 家庭と協力した読書活動の推進					
73	成長期における読書の意義の啓発	図書館	★	A	毎年4月に実施しているこども図書館まつりなどを通じ読書の啓発を行った。また年間を通じて各図書館で受け入れている中学生職場体験や、夏休み期間に実施している、小学生一日図書員、図書館探検隊、中学生ボランティア等を通じて、読書促進と図書館PRを行った。
74	おすすめ本の紹介等による保護者への啓発	図書館	★	A	毎年、夏休みおすすめ本リストを全小・中学校に配布（図書館ホームページにも掲載）し、夏休み期間中の家庭での読書推進を図った。また、毎回ブックスタート時に幼児向けおすすめ本のリストを配布し、幼児期からの家庭での読書習慣定着を推進した。
75	家庭で役目を終えた児童書等の学校等での活用	小中学校	★	A	家庭や地域からの寄贈本や図書館のリサイクル児童書の活用を図ると共に、26年度に家庭や地域からの寄贈本の活用マニュアル（本にバーコードを貼付しデータ化）を整備し各校に配布した。
76	本に触れる機会が増えるような学校だより等を通じた働きかけ	小中学校	★	A	毎年、学校図書館サポートだより「とよえもん」（年4回）の発行や、夏のおすすめ本リスト（学校図書館サポーター作成）の配布などにより、本に関する情報を提供し、本に触れる機会を増やした。
3 公共図書館における読書活動の推進に向けた取組					
① 児童サービスの充実					
77	図書館における児童図書の充実	図書館	★	A	新刊や修理不可となったロングセラー等、全体のバランスを考慮しながら、毎年継続して約8,000冊程度の児童図書を購入し、蔵書数全体160万冊の内、約3割の約44万冊が児童書となっている。
78	各年代に応じたサービスの実施	図書館	★	B	小学校（低学年・中学年・高学年）、中学生など、年代に応じたおすすめ本を毎年展示し、さらに児童書は書棚配置を分けたり、乳幼児の年齢別おすすめ本の展示などを行った。
79	インターネット活用による情報提供	図書館	★	B	図書館ホームページに子どものページを設置し、子供向け企画情報、「夏のおすすめ本」の発信や、図書館活動通信におはなし会の様子などを定期的に発信した。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
80	身体が不自由な方への本の宅配サービス	図書館	★	B	広報等による周知を図りつつ、継続して宅配サービスを実施した。(26年度実績:実利用者24名、延べ236回)
② 図書館等でのおはなし会の実施					
81	おはなし会実施と保護者への参加呼びかけ	図書館	★	B	毎月、HP等により保護者に情報を周知し、各館(中央館・生涯館・南大沢館・川口館)でおはなし会を実施した。(26年度実績:73回、303名の参加)
③ 子どもの読書推進に向けたホームページ等による情報発信					
82	読書情報を発信する子ども向けコーナーの作成	図書館	★★★	B	23年度の図書館図書館ホームページの全面改修に合わせ、ホームページ内に子ども向けのページを新設した。通常の蔵書検索が出来るだけでなく、八王子を調べるリンク集等を紹介している。また、子ども向け企画のスケジュール表示や、子ども読書関連情報がより見やすいように常に見直しを図った。
④ 子どもの図書館活動の充実					
83	「一日図書館員」等の事業充実	図書館	★	A	毎年、夏休み期間中に一日図書館員や中学生ボランティア、図書館探検、手づくりの絵本を作ろうなど、児童・生徒が図書館に興味を持つような児童向け事業を実施した。(26年度実績:一日図書館員(延べ111名)、中学生ボランティア(延べ33名))
⑤ 保健福祉センター等と連携し子育て支援事業を継続					
84	ブックスタート事業の連携での実施	子ども家庭支援センター	★	A	図書館主催のブックスタート事業に、子育て応援団Beeネットの市民ボランティアが参加し、連携を行った。
		保健福祉センター			3～4か月児健診を各保健福祉センターで延べ72回実施し、同時に実施したブックスタート事業との連携を図った。
		図書館			20年度より毎年、保健福祉センター及び子ども家庭支援センターとの連携によりブックスタート事業を実施し、26年度は大横保健福祉センターなど市内3か所で実施し、延べ72回3,575人の参加があった。
⑥ ボランティア等の育成及び研修の実施					
85	ボランティアの育成	図書館	★	A	毎年、ボランティア研修を実施、26年度は、ボランティア研修として、3回(ブックスタート2回・3歳児検診1回)講座を開催し、ボランティアの育成を図った。
86	研修等によるボランティアのレベルアップ	図書館	★	A	26年度は、ボランティア研修として、3回(ブックスタート2回・3歳児検診1回)講座を開催。また、毎年、南大沢図書館において、おはなしやわらべ歌、手遊び等の講演会を開催し、保育士やボランティア等のレベルアップを図った。
⑦ 児童サービス担当職員等のレベルアップ					
87	児童サービス担当職員間の連携充実	図書館	★	B	定期的に、図書館部内において、児童担当者会議を開催し、情報交換及び連携を図った。また、25・26年度においては、第3次読書のまち八王子推進計画の策定において、児童関連所管(保健医療部・子ども家庭部)と定期的に情報交換会議を行い連携の充実を図った。
88	研修参加や文庫との交流による職員のレベルアップ	図書館	★	B	児童担当職員のレベルアップとして、都立図書館の専門研修に参加した。また、定期的に地域文庫との交流を行った。
89	障害のある方に対するレファレンスの充実	図書館	★	B	障害者サービス担当者が研修等に参加し、デージー資料の所蔵先の調査等を中心に、レファレンスに対応した。
⑧ 学校図書館支援サービスの充実					
90	図書館職員訪問による読書活動支援	指導課	★	B	学校図書館サポート事業担当と図書館との連絡会を開催し、図書館職員が学校で読書活動をする際の支援方法や情報交換などを行った。
		図書館			毎年、中学校からの要望により、学校で本を紹介するブックトークを実施した。26年度実績(中央館1校、南大沢館1校)。
⑨ 未読者に対する読書への動機づけの推進					
91	読書活動の底辺の拡大	図書館	★	B	市広報に毎年、図書館特集を掲載すると共に、毎年、春のこども図書館まつりや秋の読書週間などにおいて、お話会やワークショップを開催し、普段図書館を利用しない人への読書の啓発を行った。
⑩ ユニバーサルデザインに基づく読書環境づくり					
92	点字図書や録音図書の積極的収集	図書館	★	A	毎年、ボランティア団体の協力により新刊案内などの点字図書や、週刊誌(抜粋)や八王子案内資料、利用者からの要望による図書資料のデージー図書を作成している。また、サピエ(厚生労働省補助、視覚障害者ネットワークシステム整備事業)のサービスや音訳ボランティア団体との連携を通して、デージー図書の利用促進を図った。
93	字幕・手話入りビデオ等の収集、貸出	図書館	★	A	24年度に、職員とボランティアの協力で字幕・手話入り図書館利用案内DVD、及び聴覚障害者の八王子空襲などの手話による体験談DVDを字幕入りで作成し市民が利用できるようにした。

No.	具体的取組	所管部署	優先度	評価	5年間の取組実績
94	日本語の読書が困難な外国人等を対象とした資料の充実	図書館	★	A	生涯学習センター図書館を中心に多文化サービスのための原書の充実に努めた。また生涯学習センター図書館において、図書館入口に英語での利用案内を大きく掲示すると共に、中国語書籍のデータを入力し資料提供できるようにした。また日本でも話題になっている資料の原書を購入し提供した。
95	拡大字本等の充実	図書館	★	A	各図書館において、拡大字本(大活字版)の継続購入に努めた。
⑪ ICTを活用したサービスの向上					
96	視覚障害者への音声サービス	図書館	★★★	A	23年度の図書館システム更新に合わせ、図書館ホームページに音声読み上げ機能についてZoomSightを設置すると共に、ホームページへの情報掲載において、音声読み上げルールに則した記述方法の徹底を図った。
97	外国人に対するホームページ等の多言語化	図書館	★★	A	23年度の図書館ホームページの更新に合わせ、図書館利用案内を英語、中国語、ハングル語の3か国語で掲載し、必要に応じて修正を加えた。
⑫ 図書館利用のサポート					
98	施設・設備の整備・改善	図書館	★	A	図書の返却ポストを、23年度に八王子駅南口総合事務所に、24年度に北野分室に設置した。また、25年度に中央図書館に赤ちゃんフラットを設置し利用者サービスの向上を図った。このほか、各図書館において、施設や設備の改修を行った。
99	手話等コミュニケーション手段確保	図書館	★	A	毎年、中央図書館において、毎週職員への手話講習を実施すると共に、庁内での職員向けの手話講習会にも参加した。
⑬ 市民団体等との連携・支援					
100	市民団体等が実施する読書活動への支援	図書館	★	A	秋の図書館祭りでの企画として、いちょう祭りに合わせ、図書館ボランティア団体の活動を紹介するワークショップを開催し、団塊の世代を含む市民にボランティア活動の周知を図った。また、図書館報らいぶらりいでボランティア団体の活動を紹介を実施した。
101	市民団体等との連携による講演会等の開催	図書館	★	A	24年度より、東京八王子西ロータリークラブと協働により、読書感想文・感想画コンクールを実施した。また毎年夏休みに「手づくり絵本」講座を「八王子手づくり絵本の会」と、また26年度に「大人の読書の会」を「八王子お話しの会」と連携して実施した。
4 啓発、広報					
① 子ども読書の日や図書館まつりを中心とした啓発広報の推進					
102	イベント開催による読書活動推進の啓発	図書館	★	A	4月に図書館子どもまつりを4館で開催し、図書館探検やお話工作会などを実施。また秋の読書週間における図書館まつりでは、いちょう祭りに合わせて図書館関連市民団体によるワークショップを開催するなどにより読書の啓発を行った。
② 小学校入学時に図書館利用案内の配布					
103	入学時における図書館利用案内配布	図書館	★★★	A	26年度に入学した小学1年生を対象に、図書館利用案内と利用申請書を市内公立小学校全校に配布した。この情報周知により、小学生や保護者が利用登録をしてもらえた。